事業報告用

令和5年度事業報告書

特定非営利活動法人 CR ファクトリー

1 事業の成果

- ・新型コロナウイルスによる対面開催自粛の流れが緩和され、大人数が一堂に会するイベント等も実施することができた。一方でコロナ禍におけるオンライン環境の急速な発展により、特にセミナー受講の効率性・利便性の認知も広まったこともあってか、オンライン開催講座の需要が依然高くあることはコロナ禍前と比較しての変化といえる。
- ・自治体関連講座では地域活動が少しずつ再起動し始めてきていることから対面開催のニーズが復活し、 ほぼ全ての開催を実地で行った。また、コロナ禍でのオンライン開催が追い風となって全国からのお問い合わせが増えたのに加え、中間支援施設等からの対面開催講座も当初予算を超える委託をいただき、 地方での出張開催の機会も増加した。
- ・約3年間にわたるコロナ禍が活動に与えた影響を確認するための実態調査アンケートを行い、500 を超える団体から集まった回答の分析調査を実施した。主に自治体関係者向けに、来年度以降の活動や支援の方向性を示す報告会を行い、指針を示すことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【8.471】千円)

(1) 付足が呂州伯劉に保る事業			(尹木貝	い 心 須 用		\Box)	
定款に記載 された事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
人々が居心地良く イキイキと活動するための組織基盤 づくりを支援する 事業	・イベント(セミナー) ・コミュニティフォーラム ・コミュニティマネジメント塾 (オンライン開催) ・スタッフ研修 ・コンサルティング	令和 5 年 4 月~令和 6 年 3 月	オンライン および 東京都内会 場	16 名	コミュニテ ィ運営者・ 関心者	361 名	601
中間支援組織等と 共に組織基盤づく りを支援するパー トナーシップ事業	(今年度実施なし)	-	-	1	-	•	-
全国に「強くあた たかい組織」を溢 れさせるための普 及育成事業	・中間支援施設等からの受託セミナー・書籍販売・インストラクター養成・育成	令和 5 年 4 月~令和 6 年3月	全国各地オンライン	13 名	コミュニテ ィ運営者・ 関心者	1,539 名	2,053
地域に元気な団体 と個人を増とり めに自治体と連携 して地域づくりトリ 一チ事業	・東京都中央区 ・東京都大田区 ・東京都中野区 ・埼玉県八潮市	令和 5 年 5 月~令和 6 年 3 月	中央区 大田区 中野区市 八潮市	7名	地域コミュ ニティ活動 者	323 名	4,343
「強織」となったたかいれたからです。 「組織」となったためではなったのは、 「神経」の開発には、 「神経」のは、 「はないでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	・コミュニティ研究関連イベント・コミュニティキャピタル診断・コミュニティ実態調査	令和 5 年 6 月~令和 6 年 3 月	オンライン	6名	研究者・コミュニティ 運営者・関 心者	560 名	1,474

(2) その他の事業

(事業費の総費用【660】千円)

<u> </u>	1.76	(1) 水黄 : /心黄/11 【000】 1 1 1 1 /			
定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)
その他、目的を 達成するために 必要な事業	・コミュニティ活動力教育事業 ("個人がコミュニティに参加し活動するカ=コミュニティ活動力"を育成する事業)	令和 5 年 4 月~令和 6 年 3 月		6名	660